

あさひっ子だより

発行責任者 石澤 悟 発行日：令和2年6月23日



「新しい生活様式」の習慣化を目指して！

「新しい生活様式」とともに学校が再開してから一ヶ月が過ぎました。学校では、独自に「旭小学校の新しい生活様式」を策定し、「3密」を避けるための新たな学習環境を整えるとともに、子どもたちには「旭小学校の新しい生活様式」の習慣化を目指して、折に触れて声かけをしています。子どもたちも、文字で見て、話をされて、頭では理解していますが、そこはまだまだ子供です。活動に夢中になると、つつい・・・。

先日、久々に行った全校集会では、「学校生活におけるソーシャルディスタンス」について話をしました。人との距離感（1～2m）に改めて気づききっかけとなりました。夏を迎えるにあたって、熱中症の心配も出てきています。感染症対策との両立に向けて、教師も子どもたちも、改めて気を引き締めて「習慣化」に取り組みます。



二学期以降の行事について(6/23 現在)

非常事態宣言の解除や首都圏等との往来自粛解除等もあり、報道にも「学校の学習活動再開」の文字が躍っていますが、あくまで『感染症対策を講じた上での再開が可能』との条件つきです。対策を講じたとしても感染リスクが排除できない場合は、延期や中止・規模縮小などの対応も考えなければいけません。子どもたちの健康・安全が最優先です。さらに、今年度中に習得すべき教科学習と学校生活に潤いやアクセントを与える学校行事のバランスについても考えていきます。

さて、一学期中の実施を見合わせていた行事を含め、2学期の大きな行事の実施について、次のような見通しを持っています。尚、感染症の状況によっては今後の変更・中止もあり得ますのでご承知おきください。

運動会 (名称も検討中)	例年通りの内容は感染症予防の観点から難しいですが、少し形を変えて、午前中のみの実施として考えています。子どもたちがこれまで以上にアイデアを出し合い、運動や表現を楽しむことのできる「スポーツフェスティバル」的な形を考えています。鼓笛も実施予定。時期は9月上旬。詳細は、これからです。
学習発表会	内容と会場の特性から「3密」を避けることは難しいと考えます。また、学習を優先して考えると、2学期に大きな行事を2つ実施することは、子どもたちへの負担も含めて難しいと考えます。よって、残念ですが、今年度は実施できないと考えています。
宿泊活動(5・6年)	一学期は延期としていましたが、10月中旬に代替の日程が確保できました。場所は、いわき海浜自然の家です。尚、県教育委員会から宿泊を伴う活動についての指針が示される予定になっていますので、その後の実施検討となります。
日山活動	地域学習は、旭小の大きな特色の一つです。できる限り実施の方向で考えています。詳細は、これからです。
縦割り班活動	2学期以降、順次再開予定です。

旭地区の歴史と二本松少年隊について

旭小学校では、今年度もふるさと旭地区について学習を進めます。6月15日には百目木在住の日下部善己先生を講師にお迎えして、5・6年生が、旭の歴史についてお話を伺いました。又、今回は二本松少年隊についてもお話いただき、広く二本松地域の歴史に触れる良い機会となりました。



※ 学校の様子については、旭小学校ホームページでも紹介しています。左のQRコードからスマートフォン等でもご覧いただけます。

二本松市立旭小学校



https://www.city.n
ibonmatsu.jp/act
19.html
0000e6ed/e6ed/100